

「伝承七夕」にキワニス社会公益賞

〈宮城〉社会福祉分野で長年活動を続けてきた県内の個人や団体を表彰する今年度の「仙台キワニス社会公益賞」に、ボランティア団体「伝承七夕」(仙台市泉区)が選ばれ、贈呈式が8日、仙台市青葉区の仙台国際ホテルで開かれた。同賞は、国際奉仕団体「仙台キワニスクラブ」(高木一弘会長)が主催し、今年で45回目。

伝承七夕は平成12年に設立。仙台七夕の伝承や七夕飾りの製作のための後継者養成のほか、全国健康福祉祭(ねんりんピック)の同市選手団に毎年ミニ七夕飾りを寄贈。東日本大震災後には仮設住宅で支援交流活動を行うなど、高齢者をはじめ幅広い層の生きがいづくりに寄与していることが高く評価され、受賞につながった。

表彰状を受け取った代表の佐藤洋子さん(88)は「2、3人から始めた活動にさまざまな支援をいただき、受賞することができた。感謝の気持ちだけです」と喜びを語った。



仙台キワニスクラブの高木一弘会長(左)から仙台キワニス社会公益賞を贈呈された「伝承七夕」の佐藤洋子代表。8日、仙台国際ホテル(千葉元撮影)